

(規則) 様式第 7 (第 7 条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 7 年 2 月 ~~28~~²⁷ 日

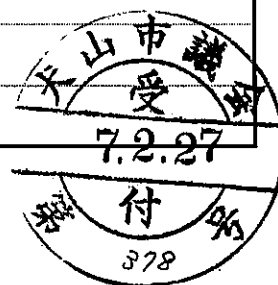
犬 山 市 議 会
議 長

様

議員名 沼 靖 子

下記のとおり、先導地調査 の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和 7 年 2 月 14 日 (金) ~ 年 月 日 () (泊 日)
(2) 場 所	半田市 にいし保善園 花園
(3) 形 態	会派 () : その他 (沼 靖 子)
(4) 内 容	別紙
(5) 成 果 ・ 提 言	別紙



(4)内容

今回の視察では、愛知県半田市にある「にじいろ保育園花園」を訪れ、民設民営の経緯や特徴、運営上の課題について伺った。半田市では「保育園等公民連携更新計画」に基づき民営化が進められており、そのメリットとして、運営の柔軟性が挙げられていた。一方で、財政面の安定性を維持することが課題として指摘されていた。

地域性を生かした保育にも力を入れており、地域の敬老会との交流や、地元の方から畑を借りて子どもたちが活動する機会を設けている。また、保護者も地域活動に積極的に関わることで、地域ぐるみの子育て環境が醸成されている。施設の特徴として、各保育室が異なるデザインになっており、子どもたちの意欲を引き出す工夫がされていた。遊具の数は多くないものの、指先や全身を使う遊びを通じて、創造力や運動能力を育む環境が整えられていた。

保育士の確保については、運営会社であるライクキッズが人材会社を持っているものの、単に人数を確保すればよいわけではなく、適切な人材の確保には苦戦しているとのことだった。また、保育士の定着を図るために、日々の話し合いを重視し、開園当初に「こんなはずではなかった」と感じた職員がいたものの、2年目にはそのような声は減少しているという。

防災・防犯面では、出入り口を一つに限定し、防犯カメラを玄関に設置している。ただし、プライバシーの観点から、園内の至る所にカメラを設置するのではなく、性被害防止のためにパーテーションを活用するなどの工夫がされていた。保護者の意見は、行事ごとのアンケートや、開園1年目のアンケートを通じて拾い上げており、実際に「お遊戯室の舞台が見えにくい」や「駐車場の問題」などの指摘に対しては改善策が講じられていた。

保育料以外の追加費用については、安全対策費やカラー帽子の費用などがあるものの、全体的に大きな負担はない印象だった。また、おむつやシーツのサブスクリプションサービスを導入することで、保護者の利便性向上に努めている。延長保育や一時保育の料金設定は、半田市の公立園と同じ基準で運用されていた。

施設全体を見学した際には、職員が限られた人数の中で助け合えるように動線が設計されていることが印象的だった。障がい児への配慮としてエレベーターが設置されており、また、玄関付近に職員室や相談室を配置することで、保護者が気軽に相談できる環境が整えられていた。発達相談を必要とする家庭も多く、市内でも支援を必要とする子どもが増えていることを改めて実感した。園内には、子どもが自由に休憩できるベンチなど

が設置されており、一斉活動が苦手な子どもがクールダウンできる空間が確保されていた点も評価できる。

さらに、教育面では、海外とオンラインでつながり交流を行う取り組みもあり、子どもたちの経験や学びの幅を広げる工夫がされていた。

(5)成果・提言

今回の視察を通じて、民設民営の保育園が持つメリットと課題を具体的に把握することができた。運営の柔軟性を生かしながら、地域とのつながりを重視し、保護者のニーズに応じたサービスを提供することで、保育の質を向上させている点は参考になる。一方で、財政面の安定性や保育士の確保・定着には引き続き工夫が必要であり、自治体としての支援策も重要であると感じた。 /

また、発達相談が多い現状や、支援を必要とする子どもが増えていることから、今後の保育環境整備には、子ども一人ひとりに寄り添った支援ができる体制の強化が求められる。特に、クールダウンできるスペースの確保や、保護者が相談しやすい環境づくりは、今後の保育施策においても検討すべきポイントである。 /

さらに、海外とのオンライン交流など、新しい教育の形を取り入れることで、子どもたちの経験を豊かにすることが可能であると感じた。これらの視察内容を踏まえ、今後の市の保育に活かしていくことが望まれる。 /